教　育　課　程　表

選択・必修の区分	美容科（昼間課程）					
	授　業　課　目		配当学年	取得単位	年間予定時間数	
					1学年	2学年
必修	関係法規・制度		2	1		30
必修	衛生管理		1・2	3	30	60
必修	保健		1・2	3	60	30
必修	香粧品化学		1・2	2	30	30
必修	文化論		1・2	2	30	30
必修	運営管理		2	1		30
必修	美容技術理論		1・2	5	90	60
必修	美容実習		1・2	30	450	450
選択	外国語（英語）		1	1	30	
選択	カウンセリング		1	1	30	
選択	ネイル/総合技術		1	3	90	
選択	スタイリスト/総合技術		1	3	90	
選択	メイクアップ/総合技術		1	3	90	
選択	ブライダル/総合技術		2	3		90
選択	エステ/総合技術		2	3		90
選択	マツエク/総合技術		2	3		90
年間合計				67	1020	990

○　単年での履修単位は33単位以上とし、2年間合算67単位以上取得で卒業を認可する。

○　教科によっては履修年度が異なる場合がある。

教　育　課　程　表

選択・必修の区分	理容科（昼間課程）					
	授　業　課　目	配当学年	取得単位	年間予定時間数		
				1学年	2学年
必修	関係法規・制度	2	1		30
必修	衛生管理	1・2	3	30	60
必修	保健	1・2	3	60	30
必修	香粧品化学	1・2	2	30	30
必修	文化論	1・2	2	30	30
必修	運営管理	2	1		30
必修	理容技術理論	1・2	5	90	60
必修	理容実習	1・2	30	450	450
選択	外国語（英語）	1	1	30	
選択	カウンセリング	1	1	30	
選択	ネイル/総合技術	1	3	90	
選択	スタイリスト/総合技術	1	3	90	
選択	メイクアップ/総合技術	1	3	90	
選択	ブライダル/総合技術	2	3		90
選択	エステ/総合技術	2	3		90
選択	マツエク/総合技術	2	3		90
年間合計			67	1020	990

○　単年での履修単位は33単位以上とし、2年間合算67単位以上取得で卒業を認可する。

○　教科によっては履修年度が異なる場合がある。

実務経験のある教員等における授業課目

美容科

実務経験のある教員等 における授業課目	担当教員名	実務経験年数
美容実習	佐々木　哲子	美容実務14年
	高谷　真紀子	美容実務10年
	磯島　弥生	美容実務10年
	長根　美佐子	美容実務14年
	稲村　有希	美容実務4年(大卒)
	川村　美幸	美容実務9年

美容実習の単位数　　1年15単位、2年17単位　　合計32単位

理容科

実務経験のある教員等 における授業課目	担当教員名	実務経験年数
理容実習	笹山　留美子	理容実務14年
	髙屋敷　健人	理容実務７年

理容実習の単位数　　1年15単位、2年17単位　　合計32単位

令和4年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
関係法規・制度	講義	1（30）

テキスト	対象学科	学年
関係法規・制度　（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
寺田　茂	

授業の概要
社会の中での法律行為を理解する基礎作りをもとに理容師法・美容師法や関連法規の構成などを学ぶ

教育目標
国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な関係法規・制度に関する知識の習得

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	2	法制度の概要	社会生活における法の役割/法の形式 衛生法規の概要/理容師法・美容師法と附属法令
	5	3	衛生行政の概要	衛生行政の意義と歴史 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容
	6	5	衛生行政の概要	衛生行政を担う行政機関
	7	3	理容師法・美容師法	目的
	8	1	理容師法・美容師法	用語の定義
	9	4	理容師法・美容師法	人(理容師・美容師)に関する規定
後期	10	4	理容師法・美容師法	施設(理容所・美容所)に関する規定 立入検査と環境衛生監視員
	11	3	理容師法・美容師法	違反者等に関する行政処分
	12	2	理容師法・美容師法	罰則
	1	2	関連法規	理容業・美容業の運営に関する法律
	2	4	関連法規	理容業・美容業の衛生に関する法律 理容業・美容業の消費者保護に関連する法律
	3	1	まとめ	
合計回数		34		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
衛生管理(公衆衛生・環境衛生)	講義	1（30）

テキスト	対象学科	学年
衛生管理　（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子	

授業の概要
理・美容業を行う上で公衆衛生の向上に努め、事業所の環境衛生を実践するための知識を深める

教育目標
国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な公衆衛生や環境衛生に関する知識の習得

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	3	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史
	5	3	公衆衛生の概要	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業
	6	5	保健	母子保健
	7	2	保健	成人・高齢者保健
	8	1	保健	精神保健
	9	4	まとめ	まとめ
後期	10	4	環境衛生の概要	環境衛生の内容、環境衛生の目的と意義環境衛生活動
	11	3	空気環境	空気と健康 温度・湿度・気流と健康
	12	2	衣服・居住の衛生	衣服の衛生 住居の衛生
	1	2	上・下水道と廃棄物	上水道、下水道、廃棄物
	2	2	衛生害虫とネズミ 環境保全	衛生害虫、ネズミ、水質汚濁
	3	1	まとめ	
合計回数		32		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
衛生管理(感染症)	講義・実習	1（30）

テキスト	対象学科	学年
衛生管理(日本理容美容教育センター)	理容科・美容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子	

授業の概要	理・美容を行う上で、感染症に対する正しい知識を身につけ、衛生上の危害を防止するだけの知識を深める。
教育目標	感染症の知識のうち、とりわけ予防接種の効果、感染症の予防対策等は、理・美容業と密接な関連があるので十分理解する。

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	2	人と感染症	感染症の発見の歴史 感染症と法律および分類
	5	4	〃	微視物の種類・構造・増殖と環境の影響
	6	4	感染症の予防	微視物の病原性と人体の感受性
	7	2	〃	汚染、感染及び発病 錠剤細菌叢
	8	1	〃	免疫と予防接種 感染症発生の要因及び予防の3原則
	9	3	まとめ	まとめ
後期	10	4	理容・美容と感染症	理容師・美容師の健康管理
	11	3	主な感染症	空気・飛沫を介して感染する感染症 飲食物を介して感染する感染症
	12	1	〃	血液等を介して感染する感染症 動物・節足動物を介して感染する感染症
	1	3	具体的な対策の例	標準予防策 咳のある客への対応
	2	4	〃	病変の皮膚を持つ客への対応 嘔吐した客への対応
	3	1	まとめ	
合計回数		32		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
衛生管理(衛生管理技術)	講義	1（30）

テキスト	対象学科	学年
衛生管理　（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	1年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子	

授業の概要
理・美容師として客や自身を感染から守る手段としての消毒法を学び理解を深める

教育目標
国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な消毒法に関する知識の習得

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	2	消毒とは/消毒の意義	病原微生物と非病原微生物/消毒の原理 汚染、感染、発病と消毒の意義 殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義
	5	3	理容・美容の業務と消毒との関係	消毒に関連のある法の規定/消毒を怠った場合の危険と理容師・美容師の責任
	6	4	消毒法と適用上の責任	消毒の種類/消毒に必要な条件 病原微生物の抵抗力/消毒薬・消毒薬使用液の使用、保存上の注意
	7	3	理学的消毒法	紫外線消毒/煮沸消毒 蒸気消毒/その他の理学的消毒法
	8	1	優れた消毒法とその実施上の注意	優れた消毒法の条件 消毒を行う際の注意事項
	9	3	化学的消毒法	アルコール類、塩素剤による消毒、両性界面活性剤、グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒
後期	10	4	各種消毒薬	消毒薬の概要/器具の使い方/常備しておくとよい消毒薬と希釈液の濃度/消毒薬希釈法
	11	4	理容所・美容所の消毒の実際	理容所・美容所における消毒の原則、消毒設備、消毒法
	12	1	理容所・美容所の消毒の実際	理容師・美容師の手指の消毒/その他のものの消毒/理容所・美容所の消毒の現状
	1	3	理容所・美容所の消毒法の実際	清潔保持と清掃/洗剤による洗浄法/洗い場の構造と清潔保持/清掃/刈り取った毛の処理、ふた付き汚物箱の消毒/ハエ・カの駆除
	2	3	衛生管理の実践例	理容所・美容所における衛生管理要綱 理容所・美容所の自主管理点検表
	3	2	まとめ	
合計回数		33		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
保健	講義	2(60)

テキスト	対象学科	配当学年
保健　（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	1年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子　　稲村　有希	

授業の概要
人体の機能や構造について頭頸部を中心に解剖を学び理解を深める

教育目標
国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な知識の習得

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授　業　計　画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	4	頭部、顔部、頸部の体表解剖学	人体各部の名称 頭部、頸部、顔部の体表解剖学
	5	7	骨格器系	骨の種類と構造、骨の連結 骨格器系とそのはたらき
	6	9	筋系	筋の種類とその特徴、主な骨格筋とそのはたらき、 表情筋と表情運動、理容・美容の作業と筋疲労
	7	4	神経系	神経系の成り立ち、中枢神経系とそのはたらき 末梢神経系とそのはたらき
	8	2	感覚器系	視覚、聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚
	9	8	血液・循環器系	血液のあらまし、血液循環のしくみ、血液の循環経路 心臓と血管のはたらき、リンパ系の仕組みとはたらき
後期	10	8	呼吸器系	呼吸器系のあらまし、気道、 肺の仕組みとガス交換、呼吸運動
	11	9	消化器系	消化器系のあらまし、消化管の仕組み 消化管のはたらき、消化管と物質代謝
	12	1	まとめ	まとめ
	1	5	皮膚の構造	皮膚の表面・断面、表皮の構造、真皮の構造、 皮下組織の構造、皮膚の部位差
	2	8	皮膚付属器官の構造	毛の構造、脂腺の構造、汗腺の構造、 爪の構造
	3	1	皮膚の循環器系と神経系	皮膚の血管、皮膚のリンパ管、 皮膚の神経
合計回数		66		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
保健	講義	1（30）

テキスト	対象学科	配当学年
保健　（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子　　稲村　有希	

授業の概要
お客様の頭皮、毛髪、肌の健康管理ができる知識を得るために、特に皮膚や毛髪に関する理解を深める

教育目標
国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な知識の習得

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授　業　計　画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	2	皮膚と皮膚付属機関の生理機能	対外保護作用、体温調節作用、知覚作用と反射作用 分泌排泄作用、呼吸作用
	5	4	皮膚と皮膚付属機関の生理機能	吸収作用、貯蔵作用、免疫・解毒・排除作用 再生作用、毛のはたらき、爪のはたらき
	6	4	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態、皮膚と精神、皮膚と栄養 皮膚とし好品
	7	1	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と体内病変、皮膚の水分と脂の状態 皮膚・付属器官とホルモン、
	8	1	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚・毛・爪の保護と手入れ、 子供のおしゃれによる皮膚トラブル
	9	4	まとめ	まとめ
後期	10	4	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類、皮膚疾患の原因・治療法 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹、口唇の疾患
	11	5	皮膚と皮膚付属器官の疾患	温熱・寒冷による皮膚障害、角化異常による皮膚疾患 色素異常による皮膚疾患、血管腫、脂腺母斑
	12	1	皮膚と皮膚付属器官の疾患	下肢静脈瘤、分泌異常による皮膚疾患 化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患
	1	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患	衛生害虫による皮膚疾患、感染症の皮膚疾患の予防 毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍
	2	5	国家試験対策	国家試験対策
	3	0		
合計回数		33		

令和4年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
香粧品化学	講義	1（30）

テキスト	対象学科	学年
香粧品化学　（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	1年

授業担当者	担当教員の実務経験
藤田　長一	

授業の概要
理・美容師が多用する香粧品の原料、配合や使用方法、安全性等についての知識を深める

教育目標
国家試験問題対応基礎力習得、理・美容師としての必要な香粧品に関する知識の習得

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	2	香粧品概論	香粧品の社会的意義と品質特性 香粧品の規制
	5	3	香粧品概論	香粧品の安定性と取り扱い上の注意 香粧品と安全性
	6	5	香粧品用原料	香粧品の対象となる人体各部の性状 水性原料
	7	2	香粧品用原料	油性原料
	8	1	香粧品用原料	界面活性剤
	9	4	香粧品用原料	高分子化合物 色材
後期	10	4	香粧品用原料	香料 その他の配合成分
	11	4	香粧品用原料	ネイル、まつ毛エクステンション用材料
	12	1	基礎香粧品	皮膚清浄用香粧品
	1	2	基礎香粧品	化粧水
	2	4	基礎香粧品	クリーム・乳液 その他の基礎香粧品
	3	2	まとめ	
合計回数		34		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
香粧品化学	講義	1（30）

テキスト	対象学科	学年
香粧品化学　（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
藤田　長一	

授業の概要
理・美容師が多用する香粧品の原料、配合や使用方法、安全性等についての知識を深める

教育目標
国家試験問題対応基礎力習得、理・美容師としての必要な香粧品に関する知識の習得

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	2	メイクアップ用香粧品	メイクアップ用香粧品の種類と剤形
	5	4	メイクアップ用香粧品	ベースメイクアップ香粧品 ポイントメイクアップ香粧品
	6	4	頭皮・毛髪用香粧品	シャンプー剤 スタイリング剤
	7	1	頭皮・毛髪用香粧品	パーマ剤
	8	1	頭皮・毛髪用香粧品	パーマ剤
	9	3	頭皮・毛髪用香粧品	ヘアカラー製品
後期	10	3	頭皮・毛髪用香粧品	育毛剤
	11	5	芳香製品と特殊香粧品	芳香製品
	12	1	芳香製品と特殊香粧品	特殊香粧品
	1	2	香粧品化学を理解するための基礎化学	物質の構成/物質の構造/溶解とコロイド
	2	6	香粧品化学を理解するための基礎化学	イオンと水素イオン指数/物質の変化と化学反応 酸化・還元反応/タンパク質
	3	1	まとめ	
合計回数		33		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
文化論	講義	1(30)

テキスト	対象学科	学年
文化論（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	１年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子　佐々木哲子　稲村　有希	

授業の概要
理、美容業の発展について歴史の知識を深める

教育目標
国家試験問題対応基礎力習得

評価方法
単位判定は前・後期試験とも50点以上、授業の出席時間数７０％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	2	総論	理容、美容とはについて
	5	3	日本の理容業、美容業の歴史	理容業、美容業の発生
	6	5	日本の理容業、美容業の歴史	江戸時代の理容業、美容業
	7	2	日本の理容業、美容業の歴史	近代・現代の理容業、美容業
	8	1	ファッション文化史（日本編）	縄文・弥生・古墳時代
	9	4	ファッション文化史（日本編）	縄文・弥生・古墳時代 古代（飛鳥、奈良、平安時代）まとめ
後期	10	4	ファッション文化史（日本編）	中世（平安、鎌倉、室町、戦国時代） 近世Ⅰ（戦国、安土桃山時代）
	11	3	ファッション文化史（日本編）	近世Ⅱ（江戸時代） 近代（明治、大正、昭和）
	12	1	ファッション文化史（日本編）	現代Ⅰ
	1	2	ファッション文化史（日本編）	現代Ⅱ、現代Ⅲ
	2	3	ファッション文化史（日本編）	現代Ⅳ
	3	2	まとめ	
合計回数		32		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
文化論	講義	1(30)

テキスト	対象学科	学年
文化論（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	２年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子　佐々木　哲子　稲村　有希	

授業の概要
理、美容業の発展について歴史の知識を深める

教育目標
国家試験問題対応基礎力習得

評価方法
単位判定は前・後期試験とも50点以上、授業の出席時間数７０％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	3	ファッション文化史（西洋編）	古代エジプト、ギリシャ、ローマ
	5	3	ファッション文化史（西洋編）	古代エジプト、ギリシャ、ローマ 古代ゲルマン
	6	5	ファッション文化史（西洋編）	中世ヨーロッパ、近世Ⅰ
	7	3	ファッション文化史（西洋編）	近世Ⅱ
	8	1	ファッション文化史（西洋編）	近世Ⅲ
	9	4	ファッション文化史（西洋編）	近代Ⅰ、近代Ⅱ
後期	10	4	ファッション文化史（西洋編）	現代Ⅰ、現代Ⅱ、現代Ⅲ
	11	3	ファッション文化史（西洋編）	現代Ⅳ、現代Ⅴ
	12	2	ファッション文化史（西洋編）	現代Ⅵ、現代Ⅶ
	1	2	礼装の種類	和装の礼装
	2	3	礼装の種類	洋装の礼装
	3	1	まとめ	
合計回数		34		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
運営管理	講義	1（30）

テキスト	対象学科	学年
運営管理　（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
高谷真紀子　寺田茂	

授業の概要	経営者の考えや目指していることを知り、良い従業員として、将来経営者として成長していくための基本的な知識の習得
教育目標	経営者の考え方や果たす責任と役割、雇用する責任、従業員として求められること、さらに顧客を満足させるサービスとどう実現させるかを学ばせるとともに国家試験対策に取り組む
評価方法	単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	3	経営者の視点	経営、経営者に関する基本知識 経営の必要性や目的、成果について
	5	3	経営者の視点	経営資源、経営計画、経営戦略 理容業・美容業の経営について
	6	5	経営者の視点	資金の管理・会計・税金について
	7	3	人という資源 従業員としての視点	人という資源の特徴と課題 労務管理
	8	1	人という資源 従業員としての視点	給与・福利厚生・労働者の権利
	9	4	人という資源 従業員としての視点	健康管理の基礎・公的年金・医療保険労働保険・キャリアプランニング
後期	10	4	顧客のために	サービス・デザイン、価値の多様性 サービスの範囲
	11	3	顧客のために	マーケティング、マーケティングミックス
	12	2	顧客のために	サービスにおける人の役割 接客の実践
	1	2	顧客のために	接客におけるトラブルと対応 トラブルにおける対策・対処
	2	3	まとめ	まとめ　国家試験対策
	3	1	まとめ	まとめ　国家試験対策
合計回数		34		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
理容技術理論	講義	3（90）

テキスト	対象学科	学年
理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	理容科	１年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山留美子　髙屋敷　健人	

授業の概要
人の容姿を整えることに関するすべての技術の理論、基礎知識を学ぶ

教育目標
理容技術を理論的に十分理解し、理容技術を効率的に行うための基礎知識を習得する

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	6	理容技術の基礎 理容用具	人体各部の名称・技術姿勢・トレーニング 理容用具と衛生・シザーズ・レザー・クリッパー
	5	11	理容用具	コーム・ブラシ・ヘアアイロン ヘアドライヤー・その他
	6	13	ヘアデザイン ヘアカッティング	ヘアスタイリングとデザイン要素 観測法・カッティングの基本原則
	7	4	ヘアカッティング	カッティングの一般的手順
	8	3	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要
	9	11	ヘアカッティング	スタンダードヘアの用具の持ち方と操作 スタンダードヘアのカット技法
後期	10	10	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法 デザインヘア・レディースカット
	11	11	ヘアセッティング	ドライヤーセット・アイロンセット レディースヘアセット
	12	4	パーマネントセット	パーマネントウェービング ワインディング
	1	7	パーマネントセット ヘアカラーリング	アイアニング ヘアカラーリングの基礎・色彩の原理
	2	11	ヘアカラーリング	専門剤の種類と原理・技術のプロセス ヘアカラーリング・その他の技法
	3	5	まとめ	
合計回数		96		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
理容技術理論	講義	2(60)

テキスト	対象学科	学年
理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	理容科	２年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子　髙屋敷　健人	

授業の概要

理容師としての心構え、理容技術の基礎理論を学ぶ事によって、理容技術の理解を高め、理容実習につなげて いく

教育目標

技術を裏付ける基本的理論を習得させる

評価方法

単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	6	シャンプーイング	シャンプーイングの目的、シャンプー剤の種類と特徴、シャンプーイングの方法
	5	8	ヘッドマッサージ ヘアートリートメント	マッサージの意義と効果、技法 ヘアートリートメントの種類、技法
	6	8	シェービング	シェービングの要件、種類、基本技術と要領 ラザーリング、スチーミングの目的、技法、注意点
	7	5	シェービング フェイシャルトリートメント	シェービングのプロセス、シェービングの技法、シェービング後のスチーミング、フェイシャルマッサージ
	8	2	理容エステティック	肌の種類と特徴、化粧料の種類と効果 マニピュレーション
	9	6	理容エステティック	ネイルケア、フットケア、 アロマテラピーの目的、効果、技法
後期	10	8	理容クリニック	カウンセリング、毛髪の基礎知識、ヘアチェック、ヘアケアとスキャルプケアの種類
	11	6	スキャルプトリートメン	理容の範囲内の軽度な頭皮トラブルの解消のためのトリートメントの目的、処置の仕方
	12	2	まとめ	
	1	6	復習	用具、カット、カラー、パーマ
	2	8	復習	シャンプー、シェービング
	3	1	まとめ	
合計回数		66		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
理容実習	実習	16（480）

テキスト	対象学科	学年
理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	理容科	１年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山留美子　髙屋敷健人	【理容実務経験あり】　　別表参照

授業の概要
理容の業務に必要な基本的技術を身に付け、さらに総合的な応用技術を身に付ける

教育目標
技術理論で学んだ基礎知識を体に身に付けさせ、自ら学ぶ姿勢を身に付ける

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	58	スタンダードヘア	基本姿勢・姿勢の変化・用具の持ち方と操作
	5	55	スタンダードヘア デザインヘア	ブロッキング・コームとシザーズの連動
	6	61	スタンダードヘア デザインヘア	デザインカットの基礎技術 ブラントカット・ストロークカット
	7	27	スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り
	8	16	スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り
	9	57	スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り
後期	10	64	スタンダードヘア デザインヘア	クリッパーワーク・ブロースカット
	11	59	ヘアセッティング	ドライヤーセットの基礎技術 クラシカルバック・バリエーション
	12	15	パーマネントウェービング	ワインディングの基礎技術・ワインディング
	1	33	パーマネントウェービング	ワインディング
	2	53	パーマネントウェービング ヘアカラーリング	ワインディング カラーリングの基礎技術・白髪染め
	3	19	パーマネントウェービング ヘアカラーリング	ワインディング・おしゃれ染め・ブリーチ
合計回数		517		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
理容実習	実習	17（510）

テキスト	対象学科	学年
理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	理容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子　髙屋敷健人	【理容実務経験あり】　　別表参照

授業の概要
国家試験合格を概念に置き、理容師に必要な心構えや基本技術を養い技術の向上を目指す

教育目標
理容に関する理論及び知識を身につけた上で、基礎技術を習得する

評価方法
単位認定は前・後期試験とも580点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	42	シャンプー	スタンドシャンプーの準備、実際
	5	62	シャンプー マッサージ	スタンドシャンプー ヘッドマッサージ
	6	72	シャンプー シェービング	バックシャンプー レザーの持ち方、順序、拭き取り
	7	25	シェーピング	ネックシェービング メンズシェービング
	8	17	シェーピング	レディースシェービング
	9	65	理容エステティック	フェイス、ネックマッサージ、パック
後期	10	76	セット カット	ドライヤーセット スタンダードヘアカット（刈上げ）
	11	54	セット カット	アイロンセット スタンダードヘアカット（ブロース）
	12	13	実技試験対策	カット、シェービング
	1	36	実技試験対策	カット、シェービング
	2	42	実技試験対策	カット、シェービング、セット
	3	4	まとめ	
合計回数		508		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
総合技術	実習	0～9(0～270)

テキスト	対象学科	学年
理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	理容科	１年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山留美子　髙屋敷健人	【理容実務経験あり】　　別表参照

授業の概要
理容の業務に必要な基本的技術を身に付け、さらに総合的な応用技術を身に付ける

教育目標
技術理論で学んだ基礎知識を体に身に付けさせ、自ら学ぶ姿勢を身に付ける

評価方法
理容実習の評価結果に基づき判断する

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4		スタンダードヘア	基本姿勢・姿勢の変化・用具の持ち方と操作
	5		スタンダードヘア デザインヘア	ブロッキング・コームとシザーズの連動
	6		スタンダードヘア デザインヘア	デザインカットの基礎技術 ブラントカット・ストロークカット
	7		スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り
	8		スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り
	9		スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り
後期	10		スタンダードヘア デザインヘア	クリッパーワーク・ブロースカット
	11		ヘアセッティング	ドライヤーセットの基礎技術 クラシカルバック・バリエーション
	12		パーマネントウェービング	ワインディングの基礎技術・ワインディング
	1		パーマネントウェービング	ワインディング
	2		パーマネントウェービング ヘアカラーリング	ワインディング カラーリングの基礎技術・白髪染め
	3		パーマネントウェービング ヘアカラーリング	ワインディング・おしゃれ染め・ブリーチ
合計回数				

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
総合技術	実習	0～9(0～270)

テキスト	対象学科	学年
理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	理容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山　留美子　髙屋敷　健人	【理容実務経験あり】　　別表参照

授業の概要
国家試験合格を概念に置き、理容師に必要な心構えや基本技術を養い技術の向上を目指す

教育目標
理容に関する理論及び知識を身につけた上で、基礎技術を習得する

評価方法
理容実習の評価結果に基づき判断する

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4		シャンプー	スタンドシャンプーの準備、実際
	5		シャンプー マッサージ	スタンドシャンプー ヘッドマッサージ
	6		シャンプー シェービング	バックシャンプー レザーの持ち方、順序、拭き取り
	7		シェーピング	ネックシェービング メンズシェービング
	8		シェーピング	レディースシェービング
	9		理容エステティック	フェイス、ネックマッサージ、パック
後期	10		セット カット	ドライヤーセット スタンダードヘアカット（刈上げ）
	11		セット カット	アイロンセット スタンダードヘアカット（ブロース）
	12		実技試験対策	カット、シェービング
	1		実技試験対策	カット、シェービング
	2		実技試験対策	カット、シェービング、セット
	3			
合計回数				

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
美容技術理論	講義	2（60）

テキスト		学年
美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	美容科	１年

授業担当者	担当教員の実務経験
磯島　弥生・稲村　有希 長根　美佐子	

授業の概要
美容器具の種類や目的を理解し、取り扱い方法を身につけ、美容技術を効率的に行うための基礎知識を習得する。

教育目標
技術を裏付ける基本的理論を習得させる。

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	6	美容道具	美容用具と各部の名称、消毒法を含めた手入れ方法、片付け整理整頓など指導
	5	11	シャンプーイング	シャンプーイング目的・ブラッシング・シャンプー剤の種類・成分などの理解させる
	6	13	カッティング	・ヘアカッティングの目的・ヘアカッティングで使用される道具 ・シザーズ、レザーの扱い方、正しい姿勢
	7	4	カッティング	・カッティングの基礎理論・ベーシックなカット技法 ・シザーズ、レザーによるカット技法
	8	3	パーマネントウェービング	・パーマネントウェーブの歴史　・毛髪について・パーマ剤の分類
	9	11	パーマネントウェービング	・パーマ剤に関する注意事項　・パーマネントウェーブ技術
後期	10	10	・ローラーカーリング ・ブロードライ	・ストランドの中心の角度によるボリュームの変化・ステムの方向と形 ・ブロードライスタイリングの目的・ハンドドライヤーとブラシの基本操作
	11	11	・アイロンセッティング ・バックコーミング ・ヘアデザイン	・アイロンカールの種類・アイロンスタイリング ・バックコーミングの技術　・美容とヘアデザイン
	12	4	・アップスタイル ・ウィッグとヘアピース	・アップスタイルの一例 ・ウィッグ、ヘアピースの素材や製造工程上の分類、手入れ方法
	1	7	ヘアカラーリング	・ヘアカラーの歴史・ヘアカラーの種類 ・ヘアカラーのタイプ別特徴・色の基本
	2	11	ヘアカラーリング	・毛髪のレベルとアンダートーン・染毛剤使用時の注意事項 ・ヘアカラーリングの道具・ヘアカラーの技術の手順
	3	5	まとめ	
合計回数		96		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
美容技術理論	講義	2(60)

テキスト	対象学科	学年
美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	美容科	２年

授業担当者	担当教員の実務経験
高谷　真紀子・川村　美幸 佐々木　哲子	

授業の概要

美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげて いく

教育目標

国家試験にむけて科学的根拠と系統だった理論を理解する

評価方法

単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	6	ウェーブ理論	オールウェーブセッティングについて
	5	8	エステティック	概論・カウンセリング・フェイシャルケア技術・ボディケア技術
	6	8	ネイル技術	概論・爪の構造と機能・ネイル技術と公衆衛生・爪の構造と機能・ネイルケア
	7	5	メイクアップ	概論・皮膚の生理機能・顔・色彩 ・メイクアップ道具スキンケア
	8	2	メイクアップ	メイクアップ・まつ毛エクステンション
	9	6	日本髪・かつら	由来・名称・道具・結髪技術・かつら
後期	10	8	着物	目的・礼装・各部名称・たたみかた
	11	6	着物	着付一般概要・留袖・振袖・礼装
	12	2	理論１・２	まとめ
	1	6	理論１・２	まとめ
	2	8	理論１・２	まとめ
	3	1	まとめ	
合計回数		66		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
美容実習	実習	15（450）

テキスト	対象学科	学年
美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター） 美容師国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター)	美容科	１年

授業担当者	担当教員の実務経験
磯島　弥生・稲村　有希 長根　美佐子	【美容実務経験あり】別表参照

授業の概要
国家試験合格を概念に置き、美容師に必要な心構えや基本技術を養い、技術の向上をめざす。

教育目標
美容に関する理論、知識と共に、美容の基本技術を習得する。

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	58	・ヘアカッティング	ブロッキング、鋏の開閉、ワンレングス
	5	55	・ヘアカッティング ・シャンプーイング	ワンレングス、セイムレングス、１シャンの説明、相モデルでの練習
	6	61	・シャンプーイング ・パーマネントウエービング	相モデルでの１シャン練習、ブロッキングの説明、ワインディング
	7	27	・シャンプーイング ・パーマネントウエービング	相モデルでの１シャン練習、ワインディングタイムを計る
	8	16	シャンプーイング ・パーマネントウエーブ	相モデルでの１シャンテスト、ワインディングタイムを計る
	9	57	シャンプーイング ・パーマネントウエーブ	２シャンの説明、相モデルでの練習，ワインディング
後期	10	64	・パーマネントウエーブ ・ヘアカッティング	ワインディング、レイヤーカット
	11	59	・パーマネントウエーブ ・ヘアセッティング	ワインディング、ワンレン、ショートのブロー
	12	15	・パーマネントウエーブ ・ヘアセッティング	ワインディング、ワンレン、ショートのブロー
	1	33	・パーマネントウエーブ ・ヘアセッティング	ワインディング、ワンレン、ショートのブロー
	2	53	・パーマネント ・ヘアセッティング	ワインディング、ワンレン、ショートのブロー
	3	19	・パーマネントウエーブ ・ヘアカラーリング	ワインディング、カラーの準備、塗布練習
合計回数		517		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
美容実習	実習	１５（４５０）

テキスト	対象学科	学年
美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター） 美容師国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター)	美容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
高谷　真紀子・川村　美幸 佐々木　哲子	【美容実務経験あり】　　別表参照

授業の概要	国家試験で定められた課題を作成し、合格レベルまで反復練習を行い資格習得をする サロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る
教育目標	国家試験実技課題の知識と技術を身に付け、試験に合格できるようにする 美容師に必要なデザインカット、アップスタイル、デザインカラー技術を身に付ける

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	42	第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成の説明・注意点・ウエーブの基本 国家試験作成時間２０分作品作成
	5	62	ピンカール 展示作品・ワインディング	ピンカール４種類の作り方・注意点 カット・アップスタイルの作成、WD規定タイム
	6	72	第二課題ウェーブ バックシャンプー	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 シャンプーイング
	7	25	第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 前期試験に向けての仕上がり確認
	8	17	第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 前期試験に向けての仕上がり確認
	9	65	第二課題ウェーブ 展示作品・ワインディング	規定タイムで課題作成を目指す カット・アップスタイルの作成、WD規定タイム
後期	10	76	第二課題ウェーブ 第一課題カット	規定タイムで課題作成を目指す 課題作成の説明・カット理論復習
	11	54	第一課題カット 衛生面の説明	各ブロックブロッキング・全頭カット 準備・注意事項確認
	12	13	第一課題カット 第二課題・衛生面	規定タイムで課題作成を目指す 規定タイムで課題作成
	1	36	第一・第二課題 衛生面チェック	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 規定タイムで課題作成
	2	42	第一・第二・衛生 ネイル・エステ・着付け	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 国家試験対策・実技
	3	4	まとめ	
合計回数		508		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
総合技術	実習	0～9(0～270)

テキスト	対象学科	学年
美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター） 美容師国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター)	美容科	１年

授業担当者	担当教員の実務経験
磯島　弥生・稲村　有希 長根　美佐子	【美容実務経験あり】　別表参照

授業の概要
国家試験合格を概念に置き、美容師に必要な心構えや基本技術を養い、技術の向上をめざす。

教育目標
美容に関する理論、知識と共に、美容の基本技術を習得する。

評価方法
美容実習の評価結果に基づき判断する

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4		・ヘアカッティング	ブロッキング、鋏の開閉、ワンレングス
	5		・ヘアカッティング ・シャンプーイング	ワンレングス、セイムレングス、１シャンの説明、相モデルでの練習
	6		・シャンプーイング ・パーマネントウエービング	相モデルでの１シャン練習、ブロッキングの説明、ワインディング
	7		・シャンプーイング ・パーマネントウエービング	相モデルでの１シャン練習、ワインディングタイムを計る
	8		シャンプーイング ・パーマネントウエーブ	相モデルでの１シャンテスト、ワインディングタイムを計る
	9		シャンプーイング ・パーマネントウエーブ	２シャンの説明、相モデルでの練習，ワインディング
後期	10		・パーマネントウエーブ ・ヘアカッティング	ワインディング、レイヤーカット
	11		・パーマネントウエーブ ・ヘアセッティング	ワインディング、ワンレン、ショートのブロー
	12		・パーマネントウエーブ ・ヘアセッティング	ワインディング、ワンレン、ショートのブロー
	1		・パーマネントウエーブ ・ヘアセッティング	ワインディング、ワンレン、ショートのブロー
	2		・パーマネント ・ヘアセッティング	ワインディング、ワンレン、ショートのブロー
	3		・パーマネントウエーブ ・ヘアカラーリング	ワインディング、カラーの準備、塗布練習
合計回数				

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
総合技術	実習	0～18(0～540)

テキスト	対象学科	学年
美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター） 美容師国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター)	美容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
高谷　真紀子・川村　美幸 佐々木　哲子	【美容実務経験あり】　別表参照

授業の概要	国家試験で定められた課題を作成し、合格レベルまで反復練習を行い資格習得をする サロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る
教育目標	国家試験実技課題の知識と技術を身に付け、試験に合格できるようにする 美容師に必要なデザインカット、アップスタイル、デザインカラー技術を身に付ける
評価方法 美容実習の評価結果に基づき判断する	

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4		第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成の説明・注意点・ウエーブの基本 国家試験作成時間２０分作品作成
	5		ピンカール 展示作品・ワインディング	ピンカール４種類の作り方・注意点 カット・アップスタイルの作成、WD規定タイム
	6		第二課題ウェーブ バックシャンプー	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 シャンプーイング
	7		第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 前期試験に向けての仕上がり確認
	8		第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 前期試験に向けての仕上がり確認
	9		第二課題ウェーブ 展示作品・ワインディング	規定タイムで課題作成を目指す カット・アップスタイルの作成、WD規定タイム
後期	10		第二課題ウェーブ 第一課題カット	規定タイムで課題作成を目指す 課題作成の説明・カット理論復習
	11		第一課題カット 衛生面の説明	各ブロックブロッキング・全頭カット 準備・注意事項確認
	12		第一課題カット 第二課題・衛生面	規定タイムで課題作成を目指す 規定タイムで課題作成
	1		第一・第二課題 衛生面チェック	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 規定タイムで課題作成
	2		第一・第二・衛生 ネイル・エステ・着付け	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 国家試験対策・実技
	3			
合計回数				

令和4年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
外国語（英語）	講義・実習	1（３０）

テキスト	対象学科	学年
外国語　（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	1年

授業担当者	担当教員の実務経験
モリスマイケル	

授業の概要

Give students the ability to talk, work and use English in their future profession as hairdressers.

教育目標

Allow students to learn and use hair dressing English in a fun and interactive style, focusing on speaking ability

評価方法

Students must receive a score of 50% in the class, and be present 75% of all classes.

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	1	自分について話そう	Self-Introduction: Talking about yourself
	5	3	あいさつ お客様を迎える	Nice to meet you, too! Greeting customers Welcome to Sunny's Hair Salon : Directing
	6	4	電話での接客 コンサルテーション	Thank you for calling : Telephone English Would you like a new hairstyle :Preferences
	7	4	シャンプー ＆トリートメント	Is the temperature all right? Questions
	8	1	ヘアカット	Can I cut about two inches off? Length and style
	9	3	パーマ	Have you had a perm before? Instructions Different types of perms
後期	10	4	ヘアカラー 仕上げ	How would you like it colored? Tones and Colors I hope you like it Asking for feedback
	11	4	お会計 クレーム対応	Here's your new member's card. Payment style I'm sorry for the inconvenience. Apologizing
	12	2	海外研修	It's an inspiring experience! Q&A
	1	3	サロンの場面から	Makeup Nail care
	2	3	サロンの場面から	Shaving and Sanitation Kimono Dressing
	3	2	まとめ	
合計回数		34		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
カウンセリング	講義	１（３０）

テキスト	対象学科	学年
ビジネスマナー（日本理容美容教育センター）	理容科・美容科	１年

授業担当者	担当教員の実務経験
佐々木哲子	

授業の概要	理・美容師として必要なカウンセリングやコンサルティングの基礎を中心に学ぶ
教育目標	相手の気持ちに沿いながらカウンセリングやコンサルティングが行える理・美容師を目指すために知識を深める
評価方法	単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数70％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	2	カウンセリング概論	カウンセリングとは。クライアントに対するカウンセラーの接し方
	5	3	社会人としての基本	職場での基本モラル。チームワークとコミュニケーション
	6	5	社会人としての基本	身だしなみ・人間関係
	7	5	正しい操作・言葉づかい	あいさつ・基本動作（立ち姿勢、歩き方、おじぎ等）、聞き方・話し方
	8	1	復習	
	9	4	言葉づかい	聞き方・話し方・言葉づかい
後期	10	4	接客の基礎	接遇・接客対応
	11	3	電話対応の基礎	電話の受け方・かけ方
	12	1	一般常識、各種マナー	名刺交換・、紹介、訪問、座席の順番等
	1	2	復習	
	2	3	冠婚葬祭	礼装、心得
	3	2	就職	心構え、履歴書の書き方
合計回数		35		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
ネイル	講義・実習	3(90)

テキスト	対象学科	学年
JNAテクニカルシステム～ジェルネイル	理容科・美容科	1学年

授業担当者	担当教員の実務経験
佐々木哲子・高谷真紀子 稲村有希	

授業の概要
JNAジェルネイル技能検定の取得を目標に、ネイルに必要な基本技術、知識を深める

教育目標
爪の健康を守るための知識と技術の習得

評価方法
単位判定は前・後期試験50点以上、授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	3	ネイル基礎理論	概論、技術体系、爪の構造と働き、用具用材用具の衛生管理、爪の病気
	5	12	ジェルネイル基礎理論 ジェルネイル技術	ネイルケア、ポリッシュカラーリング、ジェルカラーリング
	6	15	ジェルネイル技術	ジェルアート、ネイルアート
	7	3	ジェルネイル技術	ジェルネイル技能検定基本情報 ジェルオフ
	8	3	ジェルネイル技術	相モデル
	9	12	ジェルネイル技術	ネイルアート作品作成（アクリル）
後期	10	12	ジェルネイル技術	相モデルでの練習
	11	15	ジェルネイル技術	検定モデルでの練習
	12			
	1	9	ジェルネイル技術	ジェルネイル技能検予定
	2	12	ジェルネイル技術	ネイルアート作品作成（ジェル）
	3			
合計回数		96		

令和3年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
スタイリスト	実習	3(90)

テキスト		学年
ＴＯＮＩ＆ＧＵＹ　ＢＡＳＩＣ	理容科・美容科	1年

授業担当者	担当教員の実務経験
川村　美幸　磯島　弥生	

授業の概要
ＴＯＮＩ＆ＧＵＹ　ＢＡＳＩＣに基づき基本的な3つのカットスタイルを習得する。

教育目標
理・美容師に必要なカット・カラー技術における基本姿勢やシザー、コームワークを身につける。

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	3	ＴＯＮＩ＆ＧＵＹ	テキスト配布・基本用語説明
	5	9	ワンレングス	カット理論・ブロッキング・セクションの取り方　シザーとコームの連携
	6	15	ワンレングス	ワンレングス練習（タイム計測）
	7	6	ワンレングス	ワンレングス検定（25分）
	8	3	グラデーション	ＴＯＮＩ＆ＧＵＹ筆記試験　グラデーション説明
	9	12	グラデーション	グラデーション練習（タイム計測）
後期	10	12	グラデーション・レイヤ	グラデーション検定（25分）　レイヤー説明
	11	12	レイヤー	レイヤー練習（タイム計測）
	12	6	レイヤー	レイヤー検定（25分）
	1	6	カット技法	レザー・ストローク・ポインティング・スライシング
	2	12	カラー塗布	ハイライト・ウィービング
	3			
合計回数		96		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
メイクアップ　（フェイスアート）	実習	3（90）

テキスト	対象学科	学年
学校作成のプリント	理容科・美容科	1年

授業担当者	担当教員の実務経験
磯島　弥生　　川村　美幸	

授業の概要
顔の構造から美を追求し人を美しくすることを目的として基礎を習得する

教育目標
美を意識し、実技だけではなく衛生面、接客等を身に着ける

評価方法
単位認定は前・後期とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	3	顔の名称	パーツの名称
	5	12	プロポーション	理想のプロポーション
	6	12	ナチュラルメイク	スキンケア・メイククレンジング・ベースメイク
	7	3	立体メイク	ハイライト・ローライト
	8	3	〃	おさらい
	9	12	コンプレックス解消	顔の形に合わせてのメイク
後期	10	15	舞台メイク	宝塚メイク・キャッツメイク
	11	9	〃	老け顔メイク・傷メイク
	12			
	1	9	メイクコンテスト テーマ作り	
	2	18	メイクコンテスト	メイクコンテスト・和装メイク
	3			
合計回数		96		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
ブライダル（マリアージュ）	実習	3(90)

テキスト	対象学科	学年
	理容科・美容科	2年

授業担当者	担当教員の実務経験
高谷　真紀子　長根美佐子	

授業の概要　　着付けの理論と基礎技術の習得、自装・他装の着付けの仕方
洋装のアップスタイル、ブーケ作り

教育目標
サロンワークで役立つよう、着付けの基礎をマスターすることが出来るようにする

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数８０％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	9	着物の各部の名称 補正のついて	着物の各部の名称　補正の仕方
	5	6	他装、補正・長襦袢 着物、名古屋帯結び	相モデルで補正、長襦袢着付け　着物の着せ方、名古屋帯の結び方
	6	18	自装浴衣の着方 ・半幅帯	自装、浴衣の着付け、半幅帯のいろいろな　結び方
	7	3	他装、着物・名古屋帯	他装、前期試験の向けてタイムを計る
	8	3	他装、着物・名古屋帯	他装、前期試験の向けてタイム、復習
	9	12	他装、留袖着付け 自装	留袖着付け・袋帯結び　自装、復習
後期	10	12	他装、留袖着付け	留袖着付け・袋帯結び、全体のバランス
	11	12	他装、留袖着付け フラワーアレンジメント	着付けのおさらい、全体のし上がりチェック　花嫁用、新郎用のブーケづくり
	12	3	フラワーアレンジメント	花嫁用、新郎用のブーケづくり
	1	6	洋装用アップスタイル	洋装アップスタイルの仕方
	2	12	洋装用アップスタイル	洋装アップスタイルの仕方
	3			
合計回数		96		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
エステ　（ヒーリングエステ）	実習	3（90）

テキスト	対象学科	学年
日本エステティック協会	理容科・美容科	２年

授業担当者	担当教員の実務経験
笹山留美子　長根美佐子	

授業の概要
ソワンエステティックについて理解し、基礎的な心遣いを学ばせる

教育目標
エステティックの統一自主基準について知り、法令算遵守の必要性を学ぶ

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	9	理論・実技	エステ概論　生命活動とホメオスタシス　ワゴンセッティングの仕方、準備、かたづけ、消毒等の説明
	5	12	理論・実技	エステ概論　生命活動とホメオスタシス　ワゴンセッティングの仕方、準備、かたづけ、消毒等の説明
	6	9	実技	ポイントメイク落とし、スポンジの拭き取り ハンドクレンジング、ブラシクレンジング
	7	6	理論・実技	皮膚の仕組み、ハンドクレンジング、 ブラシクレンジング
	8	3	理論	化粧品の種類と働き、体の仕組み
	9	12	理論・実技	栄養の基礎知識
後期	10	6	実技	衛生と消毒、ハンド・ブラシクレンジング、吸引、パック、拭き取り
	11	18	実技	ハンド・ブラシクレンジング、アロミスト、吸引、パック、拭き取り
	12			
	1	9	理論・実技	ディプロマ試験対策、理論試験、実技試験
	2	12	実技	まとめ
	3			
合計回数		96		

令和４年度　シラバス

課目名	授業形態	単位（時間）
マツエク	実習	3（90）

テキスト	対象学科	学年
まつ毛エクステンション(日本理容美容教育センター)	理容科・美容科	２学年

授業担当者	担当教員の実務経験
長根美佐子　佐々木哲子	

授業の概要
衛生の大切さ、安心安全を第一の説明し、サロンに入ってから実践で役に立つ実習を行う

教育目標
まつ毛エクステンションは、安心安全を確保するため、必要な事項を徹底して習得させる

評価方法
単位認定は前・後期試験とも50点以上　授業の出席時間数80％以上

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容
前期	4	9	・まつ毛エクステンションとは　・まつ毛エクステンションの用具	・まつ毛エクステンションの安全、衛生について　・用具の説明
	5	9	・衛生管理・道具表示 ・ツイーザーの持ち方 ・エクステンションの持ち	・消毒の重要性・ツイーザーを扱い方・各道具に表示をつけさせる・まつ毛エクステンションの装着の仕方と装着
	6	9	・テープワーク ・まつ毛かき分けの仕方	・各テープの使い方を説明・ツイーザーを使ってのまつ毛のかき分け方・片目にまつ毛エクステンションの装着
	7	6	・保健・片目装着の仕方	・目に関する知識 ・片目にまつ毛エクステンション装着
	8	3	・保健・片目装着の仕方	・皮膚に関する知識 ・片目にエクステンション装着
	9	9	・保健・両目装着の仕方	・まつ毛に関する知識 ・両目にまつ毛エクステンション装着
後期	10	12	・装着・リムービング仕方	・両目にエクステンション装着 ・エクステンションのオフの仕方
	11	18	・カウンセリング ・まつ毛エクステンションオフ	・まつ毛エクステンションのメリット、デメリット ・アレルギーについて・まつ毛エクステンションのオフ
	12	3	・カウンセリング ・まつ毛エクステンション装着	・カウンセリングシートの使い方 ・まつ毛エクステンション装着（両目60本以上）
	1	9	・まつ毛エクステンション装着とオフ	・ディプロマ試験対策
	2	9	・まつ毛エクステンション装着とオフ ・ディプロマ試験	・ディプロマ試験対策　・試験
	3			
合計回数		96		